



しかべ 議会だより

第 8 号

2002年 1月

幼稚園餅つき会

第四回定例会の概要

一般質問

委員会の活動

意見書の提出

議員の出席状況

9P 8P 6P 4P 3P

新年のご挨拶

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃から町議会に対する暖かいご理解と絶大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年二月町議会議員の任期満了に伴う改選がなされ、心新たに町政の発展、住みよい町づくりの向上を図って参りましたが、ここに輝かしい新年を迎えるにあたり、私ども町議会は、更に責任の重大なことを一層痛感し、精進致したい覚悟であります。

しかし、現在の社会情勢は、二十一世紀に入り、激動しており、本町をとりまく諸情勢も長期化する経済不況等により町民生活は、多大な影響を受け、行政需要はその量、質ともにますます複雑多様化するなど、まことに厳しいものがあります。

私ども、町議会は、町民の代表として、議決機関の機能を最大限に發揮しつつ町民皆様のご期待に添うよう努めて参りますので、本年もより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成十四年が町民皆様にとりまして、幸せな年でありますようお願い申し上げます。



議長 佐藤 友一

平成13年 第4回定例会

平成13年第4回定例会は、12月13日に招集され、会期を2日間と決め、町長の行政報告のあと、3名の議員が3項目にわたり一般質問を行いました。その後、条例・議案13件、意見案4件などを審議し、全て原案どおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

尚、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

条 例

△鹿部町職員の給与に関する

条例の一部を改正する条例
の制定

人事院による国家公務員の
給与改定勧告に準じて改正す
るものであり、主な内容は次
のとおりである。

・一時金の支給

職員一律に、三千七百五十
六円を支給する。

・期末手当の減額
期末手当を○・〇五ヶ月減
額する。

△鹿部町職員に対する寒冷地
手当支給条例の一部を改正
する条例の一部を改正する
条例の制定
寒冷地手当の加算額を一部
改正した。

△鹿部町手数料徴収条例の一
部を改正する条例の制定
手数料条例の一部を削除し
た。

△鹿部町低位経済農漁家畜産
振興条例を廃止する条例の
制定

北海道条例の廃止に伴い、
本条例も廃止した。

△鹿部町畜産振興条例を廃止
する条例の制定
畜産農協の精算に伴い、必
要性を失ったため、本条例を
廃止した。

△鹿部町漁家経済対策委員会
条例を廃止する条例の制定
北海道条例の廃止に伴い、
本条例も廃止した。

△企業職員の給与の種類及び
基準に関する条例の一部を
改正する条例の制定
一般職員の給与条例に準じ
て、本条例も一部改正した。

補 正 予 算

△一般会計

歳入歳出それぞれ二億五千
百十五万千円を追加し、予算
総額を四十億千九百二十九万
五千円とした。

内容は、宮浜中央団地建設
関係経費で、二億三千四百十
七万二千円の追加が主なもの
である。

△国民健康保険事業勘定特別
会計

歳入歳出それぞれ千六百三
十二万八千円を追加し、予算
総額を六億千二百三十六万二
千円とした。

内容は、老人保健医療費拠
出金千二百三十五万九千円の
追加が主なものである。

△老人保健特別会計

歳入歳出それぞれ千四百八
十三万六千円を追加し、予算
総額を五億二千十三万五千円
とした。

内容は、医療給付費で五百

五十万円、国庫金の精算によ
る償還金で八百九十万九千円
の追加が主なものである。

△介護保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ千二百三
十萬四千円を追加し、予算総
額を二億千三百五十三万八千
円とした。

内容は、サービス給付費の
千二百二十万五千円の追加が
主なものである。

△水道事業会計

収益的支出を八百十九万六
千円を減額し、収益的支出の
総額を一億八百二十一万円と
した。

内容は、職員人件費の減額
によるものである。

そ の 他

△町道路線の認定について
国道二七八号鹿部バイパス
整備工事に伴い、代替道路と
して、大岩七号線を町道認定
した。

一 般 質 問

第4回定例会での一般質問は、3名の議員から3件の事項について質問がありました。

質問、答弁の趣旨をまとめ、項目順に紹介します。

大岩生活改善センター の設置



川村 清 議員

国道二七八号鹿部バイパス工事の着工が、いよいよ本格化し、現在の大岩改善センターが整備計画に取り壊されると聞いております。

これに伴い地域住民の要望を聞き入れ、一日でも早く設置してもらえないかという声が多数ありますが理事者の考えを伺いたい。

財政状況等も踏まえ地域 住民と話し合う

【松本 豊勝 町長】

ご指摘のとおり大岩生活改善センターは移転補償の対象となっており整備計画に取り壊されることになっており、現在用地買収がとり進められているところであり、今後、国の予算執行状況にも左右されますが、バイパス道路工事の方が先になるか、それとも橋梁工事の方が先になるか、まだはっきり示されておりませんが、いずれ示された時点で地域住民と建設についての話し合いをしたいと考えております。

しかし、国の構造改革では、普通交付税は小規模町村ほど大幅な削減が見込まれているところであり、今後、町財政は相当厳しい状況となっていくものと考えられます。

又、特に建物については、交付税措置のある起債を起す制度が十四年度からなくなることなどから、今後、町単独の各事業の実施についても相当厳しい状況にならざるをえないものと考えております。

よって、大岩生活改善センターも補償費用だけで建て替えることは無理と思われ、町の持ち出しも相当出てくるものと考えられますので、これらも踏まえて地域住民と話し合いたい。



取り壊しが予定されている大岩生活改善センター

用 連絡道路の民有地使



野田 重毅 議員

民有地を連絡道路として使用している箇所が全町にわたって見受けられますが、町全体では、何力所位あるのか。

又、これらについて、今後どのような考え方をしておられるのかを理事者に伺いたい。



町道認定されている宮浜地区の民有地

町全体で二十四路線

【松本 豊勝 町長】

民有地を連絡道路として使用している箇所は、概略なんですけれども、町全体で二十四路線あります。

そして、この内、町道認定されているのが十一路線、それ以外が十三路線と、とりあえず把握してございます。

今後、町道として認定されている路線については、現在進めております地籍調査によ



町道認定されていない本別地区の民有地

り、用地等が確定した段階で認定内容を精査し整備等について検討して参りたいと考えております。

又、町道認定以外の民有地連絡道路につきましては、個人同士の話し合いにより使用している部分が多く、今のところ町としては、これらのものについては考えてございません。

今後、町道の整備は、国道鹿部バイパスの整備に大きく左右されて参りますし、又、町財政が相当厳しくなっているということと、特に道路の場合、国庫補助の採択基準も費用対効果等の有無が厳しく求められ、採択が難しくなっておりますので、総体的に町道の整備についても慎重に対処して参りたい。

尻無川の決壊対策



佐藤 頼幸 議員

九月十一日の大雨により、尻無川が決壊し、浜に通じる道路が押し流されましたが、当地区では昆布の寄り場となっており、昆布拾いに際し、大変苦慮しているように聞いておりますが、理事者はこれらの対策について、どのように考えているか伺いたい。

財政的に難しい状況

【松本 豊勝 町長】

尻無川の浜に降る道路が、九月十一日の台風による大雨で決壊し、通行が不能になっ

ていることは承知してございます。

昆布拾いの組合員が利用していることから、町と漁組関係者と現地を調査してございます。

ただ、昆布拾いのための道路として整備するには、あの場所は、多額の投資をするという状態にあり、新たに道路を整備することは、町の財政状況からいった場合、相当厳しくなるだろうと思っておりますので、この道路の整備の投資は、なかなか難しい状況にあることをご理解願いたい。



大雨により決壊した尻無川

第五回臨時会

第五回臨時会は、十一月二十二日に開催され、次の事項について審議しました。

△平成十三年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告
地方自治法の規定により、平成十三年十一月八日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ四千二十七万円を追加し、予算総額を三十七億六千八百十四万四千円とした。
内容は、ホタテウロ乾燥システム整備事業負担金の追加が主なものである。

△工事請負契約の締結

【工事名】

駒ヶ岳演習場障害防止対策工事（押出沢砂防工事）

【契約金額】

一億三千五百四十五万円

【契約の相手方】

大和・吉・佐藤特定建設工事共同企業体



押出沢川 2 号ダム

委員会の活動

総務経済常任委員会

所管事務調査

一、台風十五号による被害状況について

【調査の概要】

台風十五号による駒ヶ岳山頂での総雨量は二九一mmである。

床固工及び砂防ダムの整備により、土砂流出は防止できたが、雨水がリゾート地区の民家まで流出された。

また、従来、雨水が流れにくかった尻無川においても、昨年の小噴火での降灰以降、泥流が流れるようになってい

【調査の結果】

この水害対策として、函館土木現業所では、砂防指定をかけ洞爺湖クラスの泥流工を整備したい考えがあり、町としてもリゾート地区管理者及び住民と協議しながら対応策

を検討する考えである。

また、尻無川については、今回の台風でも大量の泥流が流出され、浸食されている。

部分的に開発建設部によって補修されているが、人家及び道路に影響がない部分については、現時点では補修する考えはない。



大和ハウス分譲地内 美駒平沈砂池



大和ハウス分譲地内



大和ハウス分譲地内 美駒平沈砂池

二、間歇泉公園の現況について

【調査の概要】

間歇泉公園の現在の入園者数等について調査した。

【調査の結果】

九月末での入園者数は、五八、四一五人であり、昨年度の同時期での四六、三六六人よりも、一二、〇四九人の増加となっている。

入園料についても、約千六百万円の収入がある。



民生文教常任委員会

所管事務調査

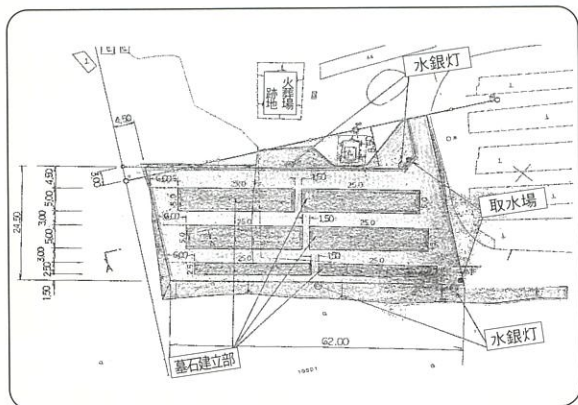
一、墓地拡張整備の現況について

【調査の概要】

鹿部墓地の墓石数については、年々増加傾向にあり、現在の墓石数は四六三基となっており、未使用区画が二区画しかない状況である。

このため、墓地の隣接町有地を、造成面積一、六五七㎡、墓石一〇八基の計画で拡張工事を着工し、工事の約八割が終了しており、照明工事のみが未着工である。

尚、墓石数については、計画一〇八基に対し、八基部分を駐車場用地に計画変更しており、一〇〇基となっている。



【調査の結果】
今回の所管事務調査については、二回開催しており、一回目の所管事務調査においては、墓石の設置方向が背中合わせになっていることから、管内町村の状況を調査し再検討するよう要請した。
二回目の所管事務調査において、管内町村の状況報告を受け、その結果、ほとんどの町村が土地の有効利用を考え、背中合わせで設置していることから、当町においても計画どおり背中合わせで設置することです承した。



拡張整備された鹿部墓地

各委員会の閉会中の所管事務調査

各常任委員会及び議会運営委員会が三月定例会までの閉会中に、次の事項について調査します。

◆総務経済常任委員会

一、本別中央会館及び宮浜中央団地工事の進捗状況について

二、町有財産の管理について

◆民生文教常任委員会

一、国民年金対策と現状について

二、学校給食センターの現状と課題について

◆議会運営委員会

一、次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項について

二、議長の諮問に関する事項について

あなたも議会を傍聴してみませんか

・・・ 手続きは簡単です。 ・・・

傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

意見書の提出

議員提案により、次の意見書を可決し、
関係省庁へ提出しました。（要旨掲載）

北海道大学水産学部の維持存続を求める意見書

平成13年6月、文部科学省から「国立大学の構造改革の方針」が提示され、各大学や分野ごとの状況を踏まえた再編・統合や国立大学法人化などの方針が示され、北海道大学においても学部再編等の検討が進められているが、仮に水産学部が移転することとなった場合、南北海道においては、高等教育機能の低下はもとより、知的人材の流出に伴う地域の基幹産業である水産業や水産関連産業の衰退など、地域社会に重大な影響を及ぼすことは必至であり、大きな危惧を抱かざるを得ません。よって、政府及び国会並びに北海道は、同学部の維持存続に努めるよう強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

牛海綿状脳症(BSE)対策に関する 要望意見書

我が国で牛海綿状脳症(BSE)のさらなる発生により消費者は、食肉等の安全性に、酪農・畜産農家や流通加工関係者は、経営の見通しに大きな不安を抱いている。風評被害による牛肉消費の落ち込みなどにより、酪農・畜産分野の北海道全体の経済的損失が予想されるなど、生産・流通・小売りを含めて深刻な影響を与えている。

地域の基幹産業として極めて重要な位置を占めている酪農・畜産の安定的な発展を図るため、適切な対策を講じられるよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

中小企業の当面する金融上の困難を 解消し、「金融アセスメント法」の 早期制定を求める意見書

政府が進めようとしている「不良債権の最終処理」によって、連鎖倒産や失業者の激増などが予想され、地域経済や中小企業経営への深刻な影響が危惧されている。また、中小企業の実態に合わない金融庁「金融検査マニュアル」の一律適用と、預金者の不安から特定金融機関に預金を集中させるペイオフ解禁によって、地域金融機関の資金不足と中小企業への融資抑制を生ずる懸念が高まっている。よって、政府においては、適切な措置を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

北海道教育大学函館校の維持存続を求める意見書

平成13年6月、文部科学省から国立大学の再編・統合や教員養成系大学の規模の縮小・再編等を内容とする「国立大学の構造改革の方針」が提示され、さらには、「国立の教員養成系大学・学部の在り方に関する懇談会」における検討も進められるなど、教員養成に係る改革の方針が急速に固まりつつあります。こうした状況を受けて、北海道教育大学においては、教員養成課程の集約やキャンパスの再編など、5分校体制の在り方について幅広い議論がなされておりますが、仮に函館校が維持存続されなくなった場合、南北海道における高等教育機関の収容率や進学率の低下はもとより、知的人材の流出による学校教育や学術・芸術・文化・スポーツ活動の衰退など、地域社会に重大な影響を及ぼすことは必至であり、大きな危惧を抱かざるを得ません。

よって、政府及び国会並びに北海道は、同校の維持存続に努めるよう強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年 鹿部町議会議員出席状況一覧表 (平成13年1月1日～平成13年12月31日)

◎＝出席 ○＝遅参・早退 公＝公務欠席 ×＝欠席

開会日 名前	定 例 会								臨 時 会					別委員会 決算審査特	常 任 委 員 会					
	第1回				第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	総務 経済 民生 文教		2/20	5/9	9/4	10/5		
	3/9	3/13	3/14	3/15	6/21	9/18	9/19	12/13	2/20	3/27	4/23	7/26	11/22		2/20	5/10	9/5	11/7	11/22	
佐藤 友一	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	総 務 経 済	◎	◎	◎	◎	
佐藤 頼幸	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
中川 一	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
小西 静夫	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
平沢 浩	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	×	◎	◎	
盛田 鉄次	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	×	×	
伊藤 辰男	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
野田 重毅	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
大沢喜代治	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	民 生 文 教	◎	◎	◎	◎	×
浦 梅吉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
川村 清	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
笠原 賢	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
千葉 光義	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
竹ヶ原公勝	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	×

議会運営委員会

開催日 氏名	2/20	3/7	3/12	3/27	4/23	6/18	7/26	9/17	11/22	12/10
小西 静夫	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中川 一	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
盛田 鉄次	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎
千葉 光義	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎
佐藤 頼幸	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

議会だより編集特別委員会

開催日 名前	1/11	開催日 名前	2/20	3/27	4/12	7/18	10/22	11/2	12/19	12/26
野田 重毅	◎	笠原 賢	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
川村 清	◎	浦 梅吉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
笠原 賢	◎	盛田 鉄次	◎	◎	◎	◎	◎	◎	公	◎
大沢喜代治	◎	千葉 光義	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎
伊藤 辰男	◎	中川 一	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

議 会 の う ご き

10 月

- 5日 総務経済常任委員会所管事務調査
- 9～11日 議員行政視察（岩手県田老町・宮古市）
- 12日 茅部郡下三町議会議員研修会（函館市・議員全員出席）
- 〃 渡島東部消防事務組合定例会（南茅部町・関係議員出席）
- 16日 国道278号鹿部バイパス整備促進要望書提出（東京都・議長出席）
- 18日 鹿部町総合計画策定審議会（議長外関係議員出席）
- 19日 渡島廃棄物処理広域連合議会定例会（上磯町・議長外関係議員出席）
- 22日 議会だより編集特別委員会
- 26日 監査委員より平成13年9月分の出納検査報告書を受領

11 月

- 2日 議会だより編集特別委員会
- 3日 町政功労者表彰式並びに名誉町民称号授与式（議長外議員出席）
- 5日 渡島管内移動政調会（函館市・議長出席）
- 7日 民生文教常任委員会所管事務調査
- 〃 議員全員協議会
- 14日 豪雪地帯町村議会議長全国大会及び町村議会議長全国大会（東京都・議長外局長出席）
- 22日 議会運営委員会・第5回議会臨時会
- 〃 議員全員協議会・民生文教常任委員会所管事務調査
- 27日 監査委員より平成13年10月分の出納検査報告書を受領

12 月

- 1日 函館鹿部会親睦会（議長出席）
- 3日 教育委員会表彰式（各議員出席）
- 5日 渡島福祉会理事会（議長外関係議員出席）
- 6日 鹿部小学校開校120周年記念式典（議長外議員出席）
- 〃 茅部地区衛生施設組合議会（砂原町・関係議員出席）
- 10日 議会運営委員会
- 13日 第4回議会定例会
- 19日 議会だより編集特別委員会
- 〃 渡島東部消防事務組合定例会（南茅部町・関係議員出席）
- 〃 水産振興研修会（議長外議員出席）
- 25日 監査委員より平成13年11月分の出納検査報告書を受領
- 26日 議会だより編集特別委員会



12/6 小学校開校120周年記念式典

編集後記

町民の皆様、明けまして
おめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい平
成十四年の新春を皆様方と
ともに迎えることができま
したことを心からお喜び申
上げます。

昨年を振り返ってみます
と、えひめ丸沈没事故、ニユー
ヨークにおける同時多発テ
ロなど暗く悲しい出来事が
ありました。

今年こそは平穏で事故や
災害のない明るい年であり
ますように願わずにはいら
れません。

町民の皆様におかれまし
ては、健康に十分留意され、
活力に満ちた夢のある毎日
で頑張ってくださいと思い
ます。

◎議会だより編集特別委員会

委員長 笠原 賢
副委員長 浦 梅 吉
委員 盛田 鉄 次
委員 千葉 光 義
委員 中川 一